

# 実践学への回帰

## ～先駆者から学ぶ～

広島大学 藤原章正

## 土木計画学の輪廻転生

- まちの将来像を描く (計画の像)
- そのための思想、理念、歴史などを学ぶ (計画の教養)
- 研究課題にあった方法を探り創る (計画の手法)
- 成果を社会に公表する (計画の公表)
- 社会的課題を解決する (計画の実践)

1

## ORに対する身近な批判

- 実践研究として画竜点睛を欠く論理展開

$$\max_t Z = f(x, y|t)$$

$$\text{subject to } x \geq 0, y \geq 0, g(x, y) = T$$

解法プログラムコード、式の組成、条件の現実み

- モデルを作ってから当てはまる政策を募る  
家庭用ソーラーパネルを開発してからあかり教育の実践地域を探す

2

## 寧静致遠！？

四全総

→21世紀の国土のランドデザイン

→国土形成計画

- 経済成長期：遠大な目標へ向かって
- 人口減少期：近視眼的な障がいの処理

土木計画学の出番

3

## 土木計画・学

まちをいかに興すか？

- 都市像、インフラ整備の正義、移動の価値、、、
- 手法はサブリミナル効果で良いかも

想定外の事態 (今まで経験したことのないような●●)

- もともと土木計画とは、  
重み付け if..then ルールによる多次元的な計画
- 「未知」に対する「不審」を「希望」に変える

4

## 授業科目「土木計画学」

誰が教えても同じ「土木・計画学」

+

私しか教えられない「土木計画・学」

=

両義的な講義

Evidence-basedのData-drivenな政策実践

5